

開催レポート

日時 令和7年2月6日(木) 14:00~16:00

場所 ふくまちブロック6F 越乃バレー

ふくいイノベーションオフィス(FIO)にて、第2回産業DXセミナーを開催しました。今回は、AIで生産計画の作成を効率化について学ぶ場として、株式会社スカイディスク取締役CSOの後藤健太郎さんにお話をお聞きしました。

後藤さんからは、企業がDXに取り組む必要性や課題、生産計画のDXによるメリット等についてご説明いただきました。

DXが成功している企業が少ないというデータから、上手くいかない理由として、DXにはデジタル変革と組織変革両方が必要だが、デジタル変革だけに目がいつている企業が多い。会社の風土を変えていくことがDXの成功に繋がるとし、組織を動かすためには、関係者に対してDXを行うことが経營業績に繋がることを説明するなど、DXが経營業績、処遇に良い影響があることを認識させることが重要とお話いただきました。

生産計画DXが「儲かる」につながる理由として、製造業では、工場で作られた製品がそのまま売上(儲け)になる。つまり、工場の生産能力を最大化すること≡現場が動きやすい環境を作ることが重要であり、現場が動きやすい環境とは生産計画と立てること。そこにDXを活用することで制約条件の設定を大幅に簡素化することが可能になり、数十秒での計画立案・リスク等の運用が容易になるとお話いただきました。

他にも生産計画DXには、3つの視点から考えてメリットがあるとお話いただきました。①業務フロー改革(営業・調達・製造と最新の情報を基にコミュニケーションが可能になる)、②製造オペレーション改革(多数ある工程を順序だてて最適化することできる)、③スタッフモチベーション(効率化による残業時間短縮できる)

参加者からは、「生産計画の重要性、AIの大切さを学んだ」や「社内のDXを進めるうえで参考になった」などの感想が寄せられました。

FIOでは、今後も新たなビジネスにチャレンジする企業のみなさんが交流・連携できるコミュニティの場となることを目指し、定期的にイベントを開催していきます

